資料５

第２期　岩内町総合戦略進捗状況

令和６年１０月

最重要業績評価指標（ＫＧＩ）

「目指す姿」の実現に向けて、次のとおり最重要業績評価指標（ＫＧＩ）を掲げて取り組みます。

項目	当初（H30年度）	（R2年度）	（R3年度）	（R4年度）	現状（R5年度）	目標（R6年度）
社会移動（転入者数ー転出者数）	△ 149人	△ 189人	△ 132人	△ 163人	△30人	△ 114人
出生数	68	51	55	54	38	55

※最重要業績評価指標（KGI）：Key Goal Indicator　最終的な目標数値

※社会移動の目標数値は、2040年までの22年間で流出入均衡を目指し、R2年度から毎年７人程度、社会移動の減少を抑制するものとします。〈統計名：住民基本台帳人口移動報告年報〉

※出生数の目標数値は、若年女性人口の減に伴う出生数の減少を、R2年度から毎年２人程度に減少数を抑制するものとします。〈統計名：住民基本台帳人口移動報告年報〉

基本目標１　稼ぐ力を伸ばし、安心して働けるようにする

【基本的方向１】　地域の特性を活かした、生産性が高く、稼ぐ地域の実現

〈５年後の目標（重要業績評価指標：ＫＰＩ）〉

項目	当初（R1年度）	（R2年度）	（R3年度）	（R4年度）	現状（R5年度）	目標（R6年度）
1人当たりの課税所得額（単位：千円）	2,709	2,722	2,858	2,965	2,980	2,874

※個人の町民税所得割の課税対象となった前年の所得金額で、地方税法に定める各所得控除を行う前のもの
〈統計名 市町村税課税状況等の調　第12表 総括表〉

※一人当たりの課税対象所得の目標数値は、直近3ヵ年の増加幅を考慮し、R2年度から毎年33千円程度の増加を目指すものとします。

● 地域産業の稼ぐ力の拡大

〈概要〉

漁家経営が厳しさを増す中、ナマコの種苗生産・育成技術の習得を進め、生産した種苗の放流による資源維持・増大による所得の増加を図ります。
また、これまでに蓄積した深層水の効果に関する試験データや利用者からの聞き取り調査の結果を解りやすい形で利用企業に情報提供するほか、深層水の試供や分水施設の休日開館、深層水普及イベントの開催といった各種の取り組みを継続することにより、地場商品の付加価値 向上や新規利用企業の拡大を図ります。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
１．ナマコ資源生産基盤強化事業	地場産業サポートセンター
２．ニシン稚魚放流事業 （後志南部地域ニシン資源対策協議会広域連携事業）	水産農林課　水産農林係
３．岩宇3町村や民間企業との協働事業（泊･神恵内･岩内 広域連携事業） （積丹半島地域活性化協議会、地域商社キットブルー）	水産農林課　水産農林係
４．身欠きニシン高品質化技術開発事業	地場産業サポートセンター
５．深層水による地場産業支援事業 （地場商品の付加価値向上や新規利用企業の拡大）	地場産業サポートセンター
６．地場産品普及PR事業 （岩宇4ヶ町村地域振興連絡協議会 広域連携事業）	観光経済課　商工振興係

〈各施策の進捗状況〉

１．ナマコ資源生産基盤強化事業

所管	地場産業サポートセンター
着手状況	平成28年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□ナマコ種苗生産技術の確立
　漁家経営が厳しさを増す中、ナマコの種苗生産・育成技術の習得を進め、生産した種苗の放流による資源維持・増大による所得の増加を図る。平成27年度以降、技術を習得するための試験を実施してきたが、生産量が少なく、ゼロとなる年度もあり技術の確立には至っていない状況にあった。そのため、令和3年度から東海大学の指導・協力を受けながら試験を進めている。

実施内容
・ナマコ種苗生産試験
　産卵期にあたる7月下旬に漁業者から親ナマコを借用し、産卵・ふ化させてナマコ幼生を得る。
　ナマコ幼生を水槽内で稚ナマコを育成し、最適な育成環境を検討する。
・ナマコ中間育成試験
　ナマコ漁場近辺の海中に設置している中間育成施設に、今年度育成した稚ナマコを収容し、
　生残率や体長などを定期的に計測し、データ収集後は放流する。
・稚ナマコ追跡調査
　中間育成した稚ナマコを中間育成施設周辺に放流し、その後の資源量を調査する。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	7,029
Ｒ６予算額	433
Ｒ６決算見込額	433

KPI(任意)

中間育成したナマコの放流数

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
0	5,000	5,000	5,000

２．ニシン稚魚放流事業
（後志南部地域ニシン資源対策協議会広域連携事業）

所管	水産農林課　水産農林係
着手状況	平成20年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

　日本海後志南部地域沿岸の５町村４漁協で構成する「後志南部地域ニシン資源対策協議会」において、種苗放流や効果調査などを実施し、ニシン資源の増大に向けた事業を展開している。
　なお、令和２年度から種苗の斃死対策として、これまでの種苗搬入後の直接放流から、放流場所（令和２～４年度寿都町有戸漁港及び泊村泊漁港、令和５年度～泊村泊漁港）において約２週間中間育成を行った後に放流。
令和６年度については、海水温上昇を考慮したことにより直接放流。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	1,316
Ｒ６予算額	1,316
Ｒ６決算見込額	1,316

KPI(任意)

－

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	－	－	－

３．岩宇3町村や民間企業との協働事業
（泊･神恵内･岩内 広域連携事業）
（積丹半島地域活性化協議会、地域商社キットブルー）

所管	水産農林課　水産農林係
着手状況	平成29年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

　平成２９年１０月、神恵内村、泊村、岩内町の３町村が出資し、地域商社「株式会社キットブルー」を設立、３町村が地域商社の運営に係る費用を補助し、マーケティング事業を図ることなどを目的としてスタートしたが、３町村からの補助は令和２年度をもって終了。
　積丹半島地域活性化協議会は、岩宇産ナマコのＧＩ制度（地理的表示保護制度）登録手続きの完了予定である令和３年度をもって補助を終了。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)

－

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	－	－	－

４．身欠きニシン高品質化技術開発事業

所管	地場産業サポートセンター
着手状況	令和元年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□身欠きニシン高品質化技術の開発
　江戸時代からの伝統的な水産加工品である身欠きニシンについて、製造工程における細菌数を把握し、有用細菌による風味向上技術を開発する。

実施内容　・町内水産加工場の実態調査
・高品質な身欠きニシンの試作試験
　実態調査の結果を基に、製造条件を検討した。また、昨年度八分乾から分離した17菌株のうち3菌株を選定し、これら菌株添加による八分乾製品の風味への影響を調べた結果、1菌株に風味(品質）の向上が期待される結果を得た。
・高品質な身欠きニシンの製造
　選定した有用菌の供給には専門技術と設備が必要となり、実用上（加工場）、開発した技術を活用するための体制構築は難しいこともあり本法ではなく、別手法で高品質化を図れないか、道総研と協議中である。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)

現場試作試験数

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
0	0	0	3

５．深層水による地場産業支援事業（地場商品の付加価値向上や新規利用企業の拡大）

所管	地場産業サポートセンター
着手状況	過年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□深層水の利用効果・課題の整理
　・これまでに蓄積した深層水の効果に関する試験データの整理
　・利用者からの聞き取り調査の実施
　・関係機関（道総研、道内深層水取水地）と連携しながら課題解決に取り組む

□付加価値向上・新規利用企業の拡大
　・整理した利用効果等をわかりやすい形で地場利用企業等に情報提供する。
　・深層水の試供、分水施設の休日開館、深層水普及イベント等の取り組みにより、
　　地場商品の付加価値向上・新規利用企業の拡大を図る。

□情報発信・新規事業の開発
　・利用効果等に関して、ＳＮＳを活用した情報発信を行う。
　・深層水に関する商品開発や新たなる利活用方法について検討する。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	190
Ｒ６予算額	830
Ｒ６決算見込額	830

KPI(任意)

企業登録数

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
255	292	300	300

６．地場産品普及PR事業（岩宇4ヶ町村地域振興連絡協議会 広域連携事業）

所管	観光経済課　商工振興係
着手状況	過年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□地場産品の普及PR
　・岩宇４町村で構成する「岩宇４ヶ町村地域振興連絡協議会」において、
　　岩宇の商品をPRするための物産展を年２回開催。
　・岩宇４ヶ町村で実施することによって、総合的な魅力を発信することができ、
　　観光客の誘客効果も期待できる。
　・また「ふるさと納税返礼品の紹介」なども行っており、物産展の効果が次に繋がるよう取り組んでいる。

（実績等）
　○令和２年度　札幌市１回（ポールスター札幌）※コロナウイルスの影響のため事業規模縮小
　○令和３年度　札幌市１回（ポールスター札幌）※コロナウイルスの影響のため事業規模縮小
　○令和４年度　札幌市１回（ポールスター札幌）※コロナウイルスの影響のため事業規模縮小
　○令和５年度　札幌市１回（ポールスター札幌）、東京都１回（Beans阿佐ヶ谷）、
　　ライブコマース１回（ＡＮＡライブショッピング）
　○令和６年度　札幌市１回（ポールスター札幌）、東京都１回（Beans阿佐ヶ谷）、
　　ライブコマース１回（ＡＮＡライブショッピング）　※見込み

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	150
Ｒ６予算額	200
Ｒ６決算見込額	200

KPI(任意)

－

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	－	－	－

● 新たな産業の創出

〈概要〉

観光地経営の視点に立ち、「稼ぐ力」としての観光資源を磨き上げ、ニセコ圏との連動も含めた新たなツーリズム（「歴史・文化」「サイクルツーリズム」「アドベンチャートラベル」等）を創出し、一年を通じた長期滞在型の観光地域づくりを行っていきます。
岩宇・南後志地域に新たなエネルギー産業として洋上風力発電の導入を目指し、関連産業への波及効果とともに、発電設備の設置・維持管理での地方港湾 「岩内港」の活用による地元産業への好影響が期待できます。合わせて水産業の振興に繋がる「漁業協調策」も実施し、漁業の健全な発展に資する取り組みを展開していきます。
新たな増養殖事業による岩内ブランドの事業化を検討します。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
７．岩内ツーリズム推進事業	観光経済課　観光係
８．IWANAI RESORT支援事業	観光経済課　観光係
９．歴史的地域素材活用研究事業 （地元産ホップ等の試験栽培、クラフトビール醸造の研究）	観光経済課　産業活動支援係
１０．新たな増養殖企業化検討実証試験事業	水産農林課　水産農林係
１１．洋上風力発電推進事業 （岩宇・南後志地区洋上風力発電推進会議 広域連携事業）	企画財政課　地域創生係

〈各施策の進捗状況〉

７．岩内ツーリズム推進事業

所管	観光経済課　観光係
着手状況	令和２年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

道の駅いわないをサイクリストの拠点施設として、サイクルスタンドを設置した（令和2年度2台、令和3年度2台）ほか、ロードバイク用空気入れ及び工具セットを設置した。
今後は、町内各所にサイクルスタンドを設置することにより、町内サイクルツーリズムの促進を図る。

事業費の内訳（単位：千円）	
Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)

サイクルスタンド設置台数（累計）

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
0	2	2	10

８．IWANAI RESORT支援事業

所管	観光経済課　観光係
着手状況	平成28年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

IWANAIRESORTを運営するYukikamui(株)に対し、スキー場唯一利用可能な索道施設（センターペアリフト）を、指定管理者として管理・運営を行い、施設の計画的改修を実施した。
　また、当該法人の主力事業であるキャットツアーの事業拡大の支援として、森林管理署および北海道に対する各種申請等支援および用地確保に向けた関係機関との調整に努めた。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)

CATツアー利用者数

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
999	1,427	1,477	1,500

９．歴史的地域素材活用研究事業
（地元産ホップ等の試験栽培、クラフトビール醸造の研究）

所管	観光経済課　産業活動支援係
着手状況	令和３年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

・ストーリー性を有するホップやホワイトアスパラガスを中心とした農作物を栽培する農業者に対する補助の実施
　ホップ　栽培者１名（４年目）
　　R3　センテニアル20株、カスケード20株、ソラチエース10株を栽培し、1.35kg収穫
　　収穫したホップは、ブルワリーの開設を控えていた荒井氏（高原ホテル）へ試験研究用として町が無償提供。
　　R4　ザーツ20株、トライアンフ20株、ソラチエース10株を追加栽培。
　　昨年植え付けたホップは、２年目となり14.6kg収穫。新規分は成長が足りなかったため収穫せず。
　　収穫したホップは、山本氏からブルワリーを開設した荒井氏（IWANAI BREWERY&HOTEL）へクラフトビール
　　製造用に無償提供。
　　R5　信州早生10株、チヌーク40株を追加栽培
　　収穫時期の気温が例年よりも高かったことから、ビールの原材料として使用可能な数量は前年度に
　　届かなかったものの、香り高い品質のものが出来上がった。
　　製品として使用可能なホップの収穫量としては、7.1kgで、ほぼ1年目に植えたものとなる。
　　２年目以降に植えたホップで、使用できるものはほぼなかった。
　　収穫したホップは、すべて荒井氏へ無償提供され、クラフトビールの原料となった。
　　R6　追加の品種、及び苗植えはなし。8.25kgの収穫に成功
　　収穫したホップは、すべて荒井氏へ無償提供され、クラフトビールの原料となった。
　アスパラガス　栽培者１名（４年目）
　　R3　町民から土地を借り、土壌改良を行う。
　　R4　育成済みの苗を200株植える。管内のアスパラガス栽培の先進地喜茂別町へ視察。
　　R5　春に収穫予定だったが、茎が細かったことから、収穫を見送った。
　　新たにビニールハウスをはじめ、様々な工具を購入した。
　　秋にすべての茎を刈り、来春に備える。
　　R6　４年目にしてグリーン８０kg、ホワイト６０kgの初収穫に成功し、試験的に道の駅にて販売。
　酒米　栽培者１名（４年目）
　　R3　酒造好適米「彗星」を20kg作付し、40俵収穫。
　　収穫した酒米は、OEMを委託した田中酒造が買い取り、岩内岳伏流水と岩内海洋深層水を活用した
　　日本酒と甘酒を製造。
　　R4　酒造好適米「彗星」を20kg作付けし、40俵収穫。
　　R5　酒造好適米「彗星」を20kg作付けし、40俵収穫。
　　R6　酒造好適米「彗星」を20kg作付けし、40俵収穫。
・栽培技能向上のための調査・研究を目的とした先進地への視察
　　視察先　サッポロビール株式会社バイオリソース開発研究所（上富良野町）
　　参加者　町役場職員のほか、ホップを活用した商品開発を担う町内の関係事業者５名

・町外への魅力発信を目的としたリーフレットの作成

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	6,230
Ｒ６予算額	2,662
Ｒ６決算見込額	2,662

KPI(任意)

商品開発数

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
0	3	3	3

１０．新たな増養殖企業化検討実証試験事業

所管	水産農林課　水産農林係
着手状況	令和２年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

国内外において、生食が可能な「養殖サーモン」の需要が伸びている一方で、供給が追いついていない現状にあり、岩内ブランドの事業化を検討するため、令和２年度に関係機関（岩内郡漁業協同組合）と先進地（青森県日本サーモンファーム(株)）を視察。令和３年度においても、関係者（漁業者、農業者、水産加工業者）と先進地（青森県日本サーモンファーム(株)）視察を実施。
（先進地視察に係る経費については、サポートセンター予算で計上）
　令和４年12月下旬より、岩内町、オカムラ食品工業(株)及び日本サーモンファーム(株)の３者による包括連携協定に基づき、岩内港内において企業誘致も視野に入れ、トラウトサーモン海面養殖試験（３カ年）を開始（包括連携協議により、試験事業に係る経費について岩内町からの支出は、なし）。また、令和５年度からエネ高補助金を活用して、再生可能エネルギーを活用した陸上における孵化・中間育成の実施に向けた施設整備をしており、令和８年度中の稼働を目指している。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	174,900
Ｒ５予算額	187,000
Ｒ６決算見込額	184,360

KPI(任意)

－

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	－	－	－

１１．洋上風力発電推進事業
（岩宇・南後志地区洋上風力発電推進会議 広域連携事業）

所管	企画財政課　地域創生係
着手状況	令和２年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□岩宇・南後志地区洋上風力発電導入推進協議会（現：岩宇・南後志地区洋上風力発電導入推進組合）への参画
・岩宇・南後志地区の６町村３漁協で組織する洋上風力発電設備の導入に向けた協議会を令和２年に発足。
　現在「一定の準備段階に進んでいる地域」として認定され、漁業者等利害関係者との各種調整や系統の確保が課題とされている。
・令和３年７月には「洋上風力発電の地域一体的開発に向けた調査研究事業」に、全国３海域のうち当海域が国から選定され、風況調査や海底地盤調査等の各種調査を行った。
・令和４年４月には、洋上風力発電導入に向けた国の指定を加速化させるため、「岩宇・南後志地区洋上風力発電導入推進組合」に組織変えした。
・令和５年５月に、当海域が「有望な区域」に指定された。
・令和５年１０月に、「浮体式」の整備に向けた「一定の準備段階に進んでいる地域」に指定された。
・令和６年７月に、「岩宇・南後志沖に係る第１回協議会」が開催された。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	501
Ｒ６決算見込額	501

KPI(任意)

－

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	－	－	－

【基本的方向２】　安心して働ける環境の実現

〈５年後の目標（重要業績評価指標：ＫＰＩ）〉

項目	当初（H30年度）	（R2年度）	（R3年度）	（R4年度）	現状（R5年度）	目標（R6年度）
女性（25～34歳の紹介就職者数（単位：人）	40	48	38	50	53	50

※紹介就職者数は、常用就職者（フルタイム　・パートタイム　）とし、4ヶ月未満の臨時的雇用や季節的雇用は含みません。
〈岩内公共職業安定所調べ〉

※女性（25～34歳）の紹介就職者数の目標数値は、総務省の労働力調査による女性の就業者数の増加幅などを考慮し、
R2年度から毎年5%程度の増加を目指すものとします。

● 若者と女性の雇用促進

〈概要〉

岩内地域人材開発センターにおいて、岩内地域における認定職業訓練やその他職業訓練等の実施と、地域住民に対しての技能講習や講座などを開催し、
雇用の促進を図ります。
南しりべし季節労働者通年雇用促進協議会では、季節労働者の通年雇用化を促進するため、各種資格取得に対し、　相談や資格取得費の助成など就労支援を行います。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
１２．若者と女性の就労支援 （岩内地域人材開発センター・南しりべし季節労働者通年雇用促進協議会 広域連携事業）	観光経済課　商工振興係

〈各施策の進捗状況〉

１２．若者と女性の就労支援（岩内地域人材開発センター・南しりべし季節労働者通年雇用促進協議会 広域連携事業）

所管	観光経済課　商工振興係
着手状況	過年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□若者と女性の雇用促進
・岩内地域人材開発センターにおいて、岩内地域の在職者や求職者に対し、認定職業訓練やその他職業訓練等を実施することで、在職者のスキルアップや求職者の再就職支援に繋がっている。
（実績等）
○令和３年度　認定職業訓練１回、職業訓練（受託）４回、職業訓練（自主）７回　計１２回
○令和４年度　〃　１回、　〃　３回、　〃　５回　計　９回
○令和５年度　〃　１回、　〃　２回、　〃　３回　計　６回
○令和６年度　〃　１回、　〃　４回、　〃　４回　計　９回　※見込み

・南しりべし季節労働者通年雇用促進協議会では、季節労働者を対し、各種技能講習、資格取得の助成など実施することで、季節労働者の通年雇用化に繋がっている。

（実績等）
○令和３年度　技能講習等（国委託）３４回、特別教育・資格取得等（独自）１６回　計５０回
○令和４年度　〃　２６回、　〃　１７回　計４３回
○令和５年度　〃　１２回、　〃　１０回　計２２回
○令和６年度　〃　１２回、　〃　１１回　計２０回　＊見込み

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	4,886
Ｒ６予算額	4,882
Ｒ６決算見込額	4,882

KPI(任意)

－

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	－	－	－

● 起業や事業承継の推進

〈概要〉

中心市街地等の空き店舗を活用して事業を行う事業者や団体に対して、貸店舗の家賃や建物の改修費の一部を補助し、起業者や町外からの移住者等の支援をすることで中心市街地等の活性化を促進します。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
１３．空き店舗等活用支援事業	観光経済課　商工振興係

〈各施策の進捗状況〉

１３．空き店舗等活用支援事業

所管	観光経済課　商工振興係
着手状況	平成28年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□空き店舗の活用
・町内の空き店舗や空き家を活用し、新規に事業を行う方に対し、改修費及び家賃の補助を行うことで、
空き店舗の活用促進と地域経済の活性化を図る。
（実績等）
〇令和３年度　改修費補助　４件、家賃補助　６件（新規出店者数：４）
〇令和４年度　〃　１件、　〃　６件（新規出店者数：１）
〇令和５年度　〃　２件、　〃　４件（新規出店者数：４）
〇令和６年度　〃　２件、　〃　４件（新規出店者数：３）＊見込み

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	2,655
Ｒ６予算額	3,200
Ｒ６決算見込額	2,492

KPI(任意)

新規出店者数

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
4	4	3	4

基本目標２　つながりを築き、新しい人の流れをつくる

【基本的方向１】　移住・定着の促進

〈５年後の目標（重要業績評価指標：ＫＰＩ）〉

項目	当初（H30年度）	（R2年度）	（R3年度）	（R4年度）	現状（R5年度）	目標（R6年度）
転入者（単位：人）	380	296	393	383	470	415

※他の市区町村から住所を移した者の数。〈統計名住民基本台帳人口移動報告年報〉

※転入者数の目標数値は、2040年までの22年間で流出入均衡を目指しR2年度から毎年7人程度、
　転入者数の増加を図るものとします。

● 移住・定住施策の推進

〈概要〉

　官民協働による推進体制を整備し、計画的かつ総合的に移住定住の促進を図るため、「（仮称）岩内町移住・定住促進計画」を策定します。計画の体系としては、「仕事」「住まい」「子育て」「移住者支援」「生活インフラ」「情報発信」などを軸に各施策を検討・整理し、定住者に対しては、生活環境や就業など安全・安心に暮らし続けられる施策を進め、移住者に対しては、特に子育て世代や事業承継の UIJターン者に対し、本町に魅力を感じ移住する動きを支援する施策を展開します。
　地域おこし協力隊については、 地域力の担い手となる人材の確保として地域外の人材を積極的に誘致し、地域力の維持・強化に資する活動により地域の活性化や産業振興等を推進します。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
１４．お試し居住整備事業（町営住宅空き住戸の活用）	都市整備課　建築係 企画財政課　地域創生係
１５．官民連携の移住・定住促進体制の構築（〈仮称〉岩内町移住・定住促進計画の策定）	企画財政課　地域創生係
１６．地域おこし協力隊員配置事業（R4.12.31現在 5名）	企画財政課　地域創生係

〈各施策の進捗状況〉

１４．お試し居住整備事業（町営住宅空き住戸の活用）

所管	都市整備課　建築係 企画財政課　地域創生係
着手状況	未着手

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容
これまで、事業内容・事業実施に係る制度設計・活用住戸及び全体事業費の検討・活用住戸の内部修繕工事費や備品購入費について関連交付金活用の検討等を行ってきており、策定に向けた調査及び検討を行ってきている。

事業費の内訳（単位：千円）	
Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)			
整備戸数（戸）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
0	0	0	8

１５．官民連携の移住・定住促進体制の構築
（〈仮称〉岩内町移住・定住促進計画の策定）

所管	企画財政課地域創生係
着手状況	Ｒ２年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□岩内町移住・定住促進計画の策定
・令和２年度には道内でも移住施策を先進的に行っている２町（上川町・厚真町）への視察を実施。
　移住者向けシェアハウスやシェアオフィス、子育て世代向け賃貸住宅等を視察や移住定住促進計画の策定経緯、施策実施の際に活用した交付金（主に社会資本整備総合交付金、地方創生推進交付金、地域づくり総合交付金など）について、伺うことができた。
・今後は、官民連携のもと、移住定住施策を促進すべく、連携体制の整備に努める。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)

転入者数

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
380	470	415	415

１６．地域おこし協力隊員配置事業
（R6.10.1現在 2名）

所管	企画財政課地域創生係
着手状況	Ｈ３０年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□地域おこし協力隊の配置
・都市圏から地方移住へ興味のある人材を地域おこし協力隊として誘致し、まちの課題となっているミッションに取り組んで
　もらい起業等を支援することで、移住定住の促進、新たなビジネスの創出による地域経済の活性化を図る。
・令和２年度には３名の地域おこし協力隊（円山観光ツーリズム、観光協会支援員、サポセン支援員）を配置。
　令和３年度には１名の地域おこし協力隊（農業支援員）を配置。
・既に起業を目指した動きが活発化しており、起業を支援する補助金交付要綱を８月に設定した。
　（８月末時点で１名交付決定済）
・令和４年度には、初の自己提案型による採用として、１名の地域おこし協力隊を配置。
・令和５年４月には、広域観光をミッションとした隊員１名を配置。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	21,262
Ｒ６予算額	32,744
Ｒ６決算見込額	32,744

KPI(任意)

任期満了後定住率

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
0	0	60	100

● 学校との連携・協働

〈概要〉

教育事業の評価や学校経営への意見・承認する機能を有する 学校運営協議会に、地域と協働できる機能を拡充させ、学校単体で取り組んでいる「地域に開かれた学校」を総合的に推進します。
地域の教育力・教育環境が、移住・定住、人口増減に影響する観点から、町と岩内高等学校、地域が一体となり、岩内高等学校の魅力化プロジェクトに取り組みます。
探究の時間での地元企業を知る機会や、地域おこし協力隊・まちづくり活動を実践する人材とのワークショップなどを通じて、キャリア教育・グローバル人材の育成・地元愛を醸成し、地域ならではの学びでUターン増加を目指します。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
１７．コミュニティ・スクール事業（地域に開かれた学校の推進）	教育委員会　生涯学習課
１８．小学生人材育成事業 （岩宇まちづくり連携協議会 広域連携事業）	企画財政課　地域創生係
１９．岩内高等学校との連携・協働事業	企画財政課　地域創生係

〈各施策の進捗状況〉

１７．コミュニティ・スクール事業（地域に開かれた学校の推進）

所管	教育委員会　生涯学習課
着手状況	Ｒ元年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□外部人材との連携
・地域学校協働活動事業や地域団体と連携し、地域団体から外部人材を効率的に派遣してもらう体制をつくるため、子ども未来課（学校教育係）から生涯学習課へ所管換えを行った。
・学校運営協議会開催（東地区（東小・一中　３回（７月・10月・２月））（西地区（西小・二中　３回（７月・10月・２月））
・ＣＳの取り組み状況について学校事務職員が中心となりＨＰ等で定期的に情報発信している。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	530
Ｒ６予算額	870
Ｒ６決算見込額	870

KPI(任意)

会議委員がCSを効果的と認識している割合（%）

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
0	100	100	100

１８．小学生人材育成事業（岩宇まちづくり連携協議会 広域連携事業）

所管	企画財政課　地域創生係
着手状況	Ｈ２８年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□岩宇まちづくり連携協議会への参画
・岩宇４町村が連携して広域でのまちづくりを進める岩宇まちづくり連携協議会へ、平成２８年度から参画している。
□岩宇こども交流プログラムの実施
・岩宇地域の小中学生を対象とし、各地域の特色を活かした体験プログラムを実施。
平成２８年度⇒（小学生の部）9/17～18実施　参加者32名　（中学生の部）10/11実施　参加者13名
平成２９年度⇒（小学生の部）　8/8～9実施　参加者58名　（中学生の部）7/26～27実施　参加者9名
平成３０年度⇒（小学生の部）9/15～16実施　参加者25名　（中学生の部）8/8～9実施　参加者30名
令和元年度⇒8/8～9実施　参加者30名　※小中学生分けずに実施
令和２・３年度⇒新型コロナウイルス感染症の影響から中止
令和４年度⇒（小学生の部）8/5実施　参加者21名
令和５年度⇒8/9～10実施　参加者小学生29名　中学生ボランティア10名　高校生ボランティア8名が参加
令和６年度⇒8/1～2 実施　参加者小学生30名　中高生ボランティア 7名　高校生ボランティア4名が参加

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	1,640
Ｒ６予算額	1,600
Ｒ６決算見込額	1,600

KPI(任意)

－

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	－	－	－

１９．岩内高等学校との連携・協働事業	所管	企画財政課　地域創生係
	着手状況	Ｈ２８年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）	
□地域おこし協力隊とタイアップした授業の実施 ・令和元年度から地域おこし協力隊が自身の活動とまちづくりについて講話する授業を実施。 ・令和３年度からは、岩内高校３年生と地域おこし協力隊員がともにまちづくり活動を行う「総合的な探究の時間（計１２コマ）」を実施している。 ・その他、地方創生講演会、地元企業研究会等の授業への参加も行っている。	Ｒ５決算額	0
	Ｒ６予算額	0
	Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)			
-			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
-	-	-	-

【基本的方向２】　つながりの構築

● 関係人口の創出・拡大

〈概要〉

ふるさと納税については、「東京ふる里岩内会」や「岩内高校同窓会」など、町に縁のある方々との関わりを積極的に創出していくとともに、町と事業関係者の思いをひとつに、さらなる連携強化を図りながら、お礼の品の充実や町の魅力発掘に繋げていきます。寄附者の想いを受け止めた使い道について、ポータルサイトや「ふるさと通信」等を通じて情報発信し、町を応援してくれる寄附者との良好な信頼関係を築いていきます。

〈５年後の目標（重要業績評価指標：ＫＰＩ）〉

項目	当初（H30年度）	（R2年度）	（R3年度）	（R4年度）	現状（R5年度）	目標（R6年度）
ふるさと納税寄付件数（単位：件）	3,624	6,705	5,626	6,967	9,732	8,000
企業版ふるさと納税寄付件数（単位：件）	0	1	4	8	13	10

※ふるさと納税の寄附件数の目標数値は、R6年度までの6年間で約2.2倍とし、R2年度から毎年730件程度の増加を図るものとします。

※企業版ふるさと納税の寄附件数の目標数値は、R2年度からR6年度までの5年間累計で10件を目指すものとします。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
２０．ふるさと納税推進事業	観光経済課　産業活動支援係
２１．企業版ふるさと納税推進事業	企画財政課　地域創生係
２２．クラウドファンディング事業	企画財政課　地域創生係
２３．岩内出身者との関係強化 （東京ふる里岩内会や岩内高校同窓会との連携・協働事業）	企画財政課　地域創生係

〈各施策の進捗状況〉

２０．ふるさと納税推進事業

所管	観光経済課　産業活動支援係
着手状況	Ｈ２８年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

・令和２年７月の機構改革に伴、ふるさと納税担当者を総務課から観光経済課へ業務を移管
・令和３年度より中間事業者を変更
・寄附受付サイトの拡充　令和４年度４サイト、令和５年度８サイト
・令和６年度より中間事業者を変更
・中間事業者を寄附管理、配達を一本化し経費の削減を図る。
・送料の見直しから返礼品率を上げ、レビューキャンペーンやメールマガジンの配信を強化
・返礼品掲載サイトの改修　令和３年度からは、SNSによる情報発信にも着手しており、一定程度の反響を得ている。
・新たに解説した観光ホームページとの連携
・ポータルサイト内広告を活用
・町外へ赴いてのプロモーション活動を実施

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	196,553
Ｒ６予算額	200,000
Ｒ６決算見込額	200,000

KPI(任意)

ふるさと納税寄付件数（件）

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
3,624	9,732	10,000	8,000

２１．企業版ふるさと納税推進事業

所管	企画財政課　地域創生係
着手状況	Ｒ２年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□企業版ふるさと納税受入体制整備
・企業版ふるさと納税の寄附を受け入れるためには、地域再生計画の認定が必要となることから、
　令和２年３月に認定を受ける。
・また、令和２年度には、岩内町企業版ふるさと納税実施要綱の制定やリーフレットの作成、ＨＰへの掲載等、
　受入体制の整備を行った。
・実績としては、令和２年度に１件　500千円の寄附を受領。（学校ＩＣＴ整備事業へ充当）
・令和３年度は、３件合計　2,300千円の寄附を受領。（学校ICT整備事業へ充当、なまこ資源生産基盤強化事業等へ充当）
・令和４年度は、４件、1,900千円。
・令和５年度は、５件、2,600千円
・令和６年度は、２件、5,100千円　（R6.10現在）

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	440
Ｒ６決算見込額	440

KPI(任意)

寄附受領件数

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
0	13	15	10

２２．クラウドファンディング事業

所管	企画財政課　地域創生係
着手状況	Ｒ２年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□クラウドファンディング事業の推進
・クラウドファンディングについて見識を深めるために、令和２年度に職員向けワークショップを実施。（20名参加）
・令和３年度は、町民向けワークショップも実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響から未実施となった。
・令和５年度より、地域創生係でプロジェクトの企画または各所管に対する提案を行ったうえで、サイト掲載等を行い、
　寄付の獲得を進める。
・令和６年度６月に岩内大火復興７０周年記念式典事業で一件クラウドファンディングを実施した。
　寄附実績　約２００件

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	2,870
Ｒ６決算見込額	2,870

KPI(任意)

プロジェクト件数

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
0	0	1	5

２３．岩内出身者との関係強化
（東京ふる里岩内会や岩内高校同窓会との連携・協働事業）

所管	企画財政課　地域創生係
着手状況	過年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□東京ふる里岩内会会報への記事提供
・例年発行される東京ふる里岩内会会報へ記事提供を行い、連携を行っている。
□岩内高校同窓会との連携
・令和２年度中に岩内高校開校100周年記念式典を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響から延期の末、令和３年度に中止となった。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)

－

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	－	－	－

基本目標３　結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【基本的方向１】　結婚・出産・子育てしやすい環境の整備

〈５年後の目標（重要業績評価指標：ＫＰＩ）〉

項目	当初（H31.4.1）	（R3.4.1）	（R4.4.1）	（R5.4.1）	現状（R6.4.1）	目標（R6.4.1）	
						コーポレイト法推計	住民基本台帳
15歳未満人口（単位：人）	1,189	1,137	1,038	972	915	1,002	1,232

※15歳未満人口の目標数値は、R6.4.1までの5年間で43人の増を目指し、毎年9人程度の増加を図るものとします。
〈統計名住民 基本台帳人口移動報告年報〉

● 妊娠・出産・子育ての支援

〈概要〉

質の高い教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業を実施するため計画的に基盤整備を行い、教育・保育施設やその他の子ども・子育て支援を行う者が相互に連携しながら地域の実情に応じた取り組みを進めていきます。
保健センター内に開設した母子健康包括支援センターを拠点に、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない総合的相談支援を提供します。
また、東山保育所と中央保育所の老朽化に伴い新たな保育所を建設しますが、保護者の保育ニーズを踏まえながら、町の子育て支援を担う基幹的保育所となるよう整備を進めます。
さらに、新たな保育所には、子育て中の親子が気軽に集い、遊びや育児相談などができる地域子育て支援センターを併設することとし、 実施設計・建設工事等を実施します。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
２４．母子健康包括支援センター事業	健康づくり課　健康推進係
２５．産前・産後サポート・ケア事業	健康づくり課　健康推進係
２６．育児相談・育児教室事業（ふれあい教室）	健康づくり課　健康推進係
２７．保育所整備事業	社会福祉課　福祉調整係
２８．地域子育て支援センター整備事業	社会福祉課　福祉調整係
２９．延長保育事業	子ども未来課　子育て支援係
３０．病児保育事業	子ども未来課　子育て支援係
３１．一時預かり事業	子ども未来課　子育て支援係
３２．いじめ・不登校対策事業	子ども未来課　学校教育係
３３．学校ICT環境整備事業（小中学校）	総務・学校整備課　学校整備係
３４．施設一体型義務教育学校導入事業	総務・学校整備課　学校整備係
３５．読書活動推進事業（絵本館運営、ブックスタート事業の推進）	生涯学習課　生涯学習係
３６．青少年健全育成事業（スポーツ・文化・わいわいウィークエンド教室など）	生涯学習課　生涯学習係

〈各施策の進捗状況〉

２４．母子健康包括支援センター事業

所管	健康づくり課　健康推進係
着手状況	R元年度　着手済

今年度（R５）までの具体的な実施内容

・令和元年６月に、保健センター内に母子健康包括支援センターを開設。
・以前より実施していた育児教室等母子保健事業体系の見直しや、要支援家庭の把握方法等を見直し等を進め、妊娠・出産・育児にかかる切れ目のない支援体制として、産前産後サポート・ケア事業、育児相談・教室等の実施をしている。
・また、ハイリスク妊産婦など丁寧な対応が必要な場合は、関連部署・機関と連携している。

事業費の内訳（単位：千円）

R５決算額	4,418
R６予算額	7,319
R６決算見込額	7,319

KPI(任意)

－

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	－	－	－

２５．産前・産後サポート・ケア事業

所管	健康づくり課　健康推進係
着手状況	R元年度　着手済

今年度（R５）までの具体的な実施内容

・令和元年度より、産後ケア事業、産前産後サポート事業に取り組んでいる。
・産後ケア事業では、助産師が出産後の母子がいる家庭に訪問し、母親の心身のケアや育児相談に応じている。
　令和４年度から、産後うつの早期発見・早期支援、令和５年度からは、卒乳を目的に産後ケア利用回数を１人最大４回に
　拡充した。
　更に令和６年度からはこれまでの訪問型サービスに加え、通所型・短期宿泊型サービスを利用できるように
　利用可能サービスを拡充した
・産前産後サポート事業は、デイサービス・集団型とアウトリーチ（訪問）型を実施している。
　デイサービス・集団型は、妊婦を対象とした「ぷれままくらす」と産婦を対象とした「ままくらす」に分けて実施しており、参加者の聞きたいこと、知りたいことに助産師が答える形で参加者の疑問や不安の軽減に努めてきた。
　コロナ禍により医療機関から十分な支援が得られず、また、生活制限により体調不良者が増加傾向であり、育児不安がみられていたことを受け、令和４年度より、自身がより自らの健康管理や育児に目が向けられるよう「ぷれままくらす」では歯科衛生士、栄養士による支援、「ままくらす」では授乳期・卒乳記の体の変化や対象法を学ぶ機会を設けた。
　アウトリーチ（訪問）型は、令和２年度より開始。支援を希望する妊産婦の元に、保育士等の専門職を派遣し、育児の相談や生活の支援を実施している。

事業費の内訳（単位：千円）

R５決算額	3,391
R６予算額	7,519
R６決算見込額	7,519

KPI(任意)

産後十分にケアを受けられたと回答した妊婦の割合（%）

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
87.9	82.9	92	100

２６．育児相談・育児教室事業（ふれあい教室）

所管	健康づくり課　健康推進係
着手状況	R元年度　着手済

今年度（R５）までの具体的な実施内容

・保護者が安心して子育てできること、子どもが健やかに成長できることを目指し、「ふれあい教室」を実施している。
・生後２か月、４か月、７か月、１０か月の乳児とその保護者を対象に、その時期の子どもの成長発達の特徴やそれに合わせた育児についての情報提供を実施。また、参加者間の情報交換を行えるようにしている。

事業費の内訳（単位：千円）

R５決算額	30
R５予算額	272
R６決算見込額	272

KPI(任意)

この地域で今後も子育てしていきたいと回答した割合（%）

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
84.8	90.2	88	100

２７．保育所整備事業

所管	社会福祉課　福祉調整係
着手状況	Ｒ２年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容
Ｒ２年度に実施設計・地質調査・測量を実施し、Ｒ３年度からＲ４年度にかけて建築主体・電気・機械工事に着手。 Ｒ４年度から外構工事の実施、必要備品の購入。Ｒ５年度の４月から供用開始。

事業費の内訳（単位：千円）	
Ｒ５決算額	489,135
Ｒ６予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)			
出生数（人）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
68	38	30	55

２８．地域子育て支援センター整備事業

所管	社会福祉課　福祉調整係
着手状況	Ｒ２年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容
新たな保育所に併設して建設を開始しており、具体的実施内容は保育所整備事業と同様。 ※事業費については保育所整備事業で一体的に実施。

事業費の内訳（単位：千円）	
Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)			
出生数（人）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
68	38	30	55

２９．延長保育事業

所管	子ども未来課　子育て支援係
着手状況	未着手（着手時期未定）

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容
【未着手の理由】 　保育士を安定的に確保できる環境を整えることや保護者のニーズと働く保育士の労働環境を考慮し、実現に向けた検討を進めるため。

事業費の内訳（単位：千円）	
Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)			
出生数（人）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
68	38	30	55

３０．病児保育事業

所管	子ども未来課　子育て支援係
着手状況	未着手（着手時期未定）

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）	
【未着手の理由】 本事業は看護師と保育士のそれぞれの配置が必要であることや保育所施設内の配置では特定財源が確保できないため、令和５年度からの実施を見送り、今後、医療機関への委託方法も含め、継続して検討するため。	Ｒ５決算額	0
	Ｒ６予算額	0
	Ｒ６決算見込額	0

KPI（任意）			
出生数（人）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
68	38	30	55

３１．一時預かり事業

所管	子ども未来課　子育て支援係
着手状況	Ｒ５年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）	
令和４年度に制度設計を実施、令和５年４月にオープンした、地域子育て支援センターにおいて保護者の疾病などの緊急時や育児に伴う負担軽減を目的に一時預かり事業をスタート。 令和５年度は“いわない地域子育て支援センター”で実施し、１４６人が利用した。 また令和５年１０月に実施したアンケートでは「楽しく過ごせた」、「近くに親族がいないのでとても助かった」など子育て世帯からサービスに対する高評価が得られた。	Ｒ５決算額	3,489
	Ｒ６予算額	3,180
	Ｒ６決算見込額	3,180

KPI（任意）			
出生数（人）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
68	38	30	55

３２．いじめ・不登校対策事業

所管	子ども未来課　学校教育係
着手状況	Ｒ２年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）	
〔Ｒ２～〕 □スクールソーシャルワーカー配置に向けた人材の選定 →選定作業は行ったが、候補者の目処は立っていない。Ｒ３以降も継続して選定作業を行う。 □関係機関及び既存の会議体との接続に係るニーズ調査 →スクールカウンセラーは学校間、学校は幼保小間、教委は外部機関との調整役を担い、それぞれが接続ニーズを把握し関係機関で相互接続できるよう取り組んだ。 〔Ｒ３～〕 □スクールソーシャルワーカー配置 →候補者の選定が出来ていないため、配置に至っていない。継続して選定作業中 令和８年度開校の岩内中央学園での配置について、検討を進める	Ｒ５決算額	0
	Ｒ６予算額	0
	Ｒ６決算見込額	0

KPI（任意）			
いじめ認知件数のうち、 解消しているものの割合（%）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	100	100	100

３３．学校ICT環境整備事業（小中学校）

所管	総務・学校整備課　学校整備係
着手状況	Ｒ２年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□ＩＣＴ環境の整備
・ＧＩＧＡスクール構想を推進するため、小中学校において一人一台タブレット端末を整備し、児童生徒の発達段階や学習内容に応じてＩＣＴを適切に活用し、学びの充実を図る。
【Ｒ２】
・小学４年生～中学３年生の児童生徒用タブレット端末及び教職員用ウェブカメラ、小中学校普通教室にインターネット環境を整備した。
・教職員及び児童生徒が早期にタブレット端末を活用できるようＧＩＧＡスクールサポーターを配置し、マニュアルの作成や講習会等を実施した。
【Ｒ３】
・小学１年生～小学３年生の児童用タブレット端末を整備した。
【Ｒ４】
・教職員用タブレット端末について、各小中学校学級数分を整備した。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	839
Ｒ５予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)

ICTを用いた授業の実施率（%）

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
0	70	100	100

３４．施設一体型義務教育学校導入事業

所管	総務・学校整備課　学校整備係
着手状況	Ｈ３１年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□施設一体型義務教育学校の導入
・施設一体型義務教育学校の導入を推進するため、当該学校の実現性について、協議・検討を進める。
【Ｈ３１】
・義務教育学校基本構想・基本計画策定
【Ｒ２】
・道内外の先進地を視察
【Ｒ３】
・義務教育学校整備調査等業務において、優先候補地である地域交流センター及び町民体育館での事業実施が可能であるか調査し、可能と判断したため基本設計を実施した。
【Ｒ４】
・建設工事に向けた基本設計をはじめ、建設用地地質調査、建設用地現況及び用地確定測量を実施した。
【Ｒ５】
・各種建設工事に着手した。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	485,464
Ｒ６予算額	2,411,743
Ｒ６決算見込額	2,411,743

KPI(任意)

－

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	－	－	－

３５．読書活動推進事業（絵本館運営、ブックスタート事業の推進）

所管	生涯学習課　生涯学習係
着手状況	過年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□絵本館来館者の満足度向上施策の実施
・広報いわないで絵本館の新刊情報や行事についてのお知らせを実施。
・絵本館を知ってもらうため、１０か月育児相談や子育て支援センターを利用し、保護者に対し情報発信。
・絵本館ボランティアと連携して、館内の装飾や絵本購入の選定を行い、魅力ある絵本館の運営を実施。
□絵本の読み聞かせやイベント開催の充実など
・ブックスタート事業の実施：生後1歳を迎える子とその親に絵本の読み聞かせの指導とあわせて絵本を手渡し（プレゼント）し、絵本の効果を説明するとともに、親と子のあたたかいコミュニケーションを図るきっかけの場となるよう実施。
・おはなし会の実施：幼児を対象に行う「おはなし会」（毎月第３土曜日）、主に３歳未満を対象に行う「小さなおはなし会」、高齢者を対象に行う「大人のおはなし会」を社会教育指導員を中心に絵本館ボランティアと連携し実施。
・うきうき絵本フェスタの実施：子どもから大人まで誰もが読書に親しめる機会を提供することを通して子どもの読書の重要性を認識し家庭や地域における望ましい読書習慣の定着を図ることを目的として実施。【Ｒ２のみ新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	1,101
Ｒ６予算額	1,359
Ｒ６決算見込額	1,359

KPI(任意)

絵本館利用者数（人）

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
1,432	837	853	1,000

３６．青少年健全育成事業
（スポーツ・文化・わいわいウィークエンド教室など）

所管	生涯学習課　生涯学習係
着手状況	過年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）	
□スポーツ・文化教室の活性化 ・青少年の学習機会としてスポーツ・文化の教室を開催し、技術・技能の向上を図っている。 ・書道教室（毎週水曜日）受講者【Ｒ２】１９人　【Ｒ３】２１人　【Ｒ４】２５人 【Ｒ５】１２人　【Ｒ６】１９人 剣道教室（毎週火曜日、隔週金曜日）受講者【Ｒ２】２９人　【Ｒ３】２２人　【Ｒ４】１６人 【Ｒ５】９人　【Ｒ６】５人 空手教室（毎週月曜日、隔週金曜日）受講者【Ｒ２】３９人　【Ｒ３】３９人　【Ｒ４】２４人 【Ｒ５】２１人　【Ｒ６】８人 卓球教室（毎週月曜日）受講者【Ｒ２】５人　【Ｒ３】３人　【Ｒ４】３人　【Ｒ５】廃止 □わいわいウィークエンド教室の充実 ・Ｒ２年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。Ｒ３年度は「文化センターサークル体験」ほか２プログラムを実施。Ｒ４年度は「親子料理教室」ほか６プログラムを実施。Ｒ５年度は「パークゴルフ体験」ほか５プログラムを実施予定。 □子ども会への加入者増加策の強化 ・少子化により子ども会への加入者は減少傾向であるが、岩内町子ども会育成連絡協議会と連携し「小学生玉入れ大会（わいわいウィークエンド教室）」を開催するなど（Ｒ２～Ｒ４年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）、活気ある事業を実施している。	Ｒ５決算額	2,750
	Ｒ６予算額	3,116
	Ｒ６決算見込額	3,116

KPI（任意）			
各種事業の参加者人数（人）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
4,485	6,195	5,000	4,500

● 出産や子育ての経済的負担の軽減

〈概要〉

子育てしやすい環境の整備には、妊娠・出産期からの各種健診等事業をスタートとして、子どものライフステージに応じた切れ目のないサービス提供と、関係機関等が情報共有し支援することが重要です。
子ども及びその保護者が必要とするサービスを円滑に利用できるよう支援を行うとともに、良質で適切な保育等の子ども・子育て支援が、総合的かつ効率的に提供できるよう努めます。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
３７．特定不妊治療費助成事業	健康づくり課　健康推進係
３８．妊婦健康診査通院交通費助成事業	健康づくり課　健康推進係
３９．任意予防接種助成事業（インフルエンザ・おたふくかぜ）	健康づくり課　健康推進係
４０．出産祝金給付事業（第3子以降の出産祝金）	社会福祉課　福祉調整係
４１．多子世帯子育て支援事業 （第3子以降の小･中･高･大学等の進学時の支援金）	社会福祉課　福祉調整係
４２．子育て世帯定住支援事業 （移住･若年･子育て世帯に特化した中古住宅取得補助金）	都市整備課　建築係

〈各施策の進捗状況〉

３７．特定不妊治療費助成事業

所管	健康づくり課　健康推進係
着手状況	今年度より着手

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）	
・令和４月４月より、一部治療が保険適用となったが、「先進医療」による不妊治療費用については、未だ金額が自己負担と なっている ・また、先進医療費の一部補助として、同の補助金が創設されたことから、町としても取り組みを検討している。 ・他町村では、保険適用となった医療費の自己負担額を一部補助している事例もあることから、併せて検討している。 ・令和６年度より、不妊治療費等扶助費を予算計上し、不妊治療に要する経費の助成を行っている。	Ｒ５決算額	0
	Ｒ６予算額	4,985
	Ｒ６決算見込額	4,985

KPI（任意）			
－			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	－	－	－

３８．妊産婦健康診査通院交通費助成事業

所管	健康づくり課　健康推進係
着手状況	Ｈ２７年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容
・妊婦健康診査を受診する妊婦に対し、医療機関または助産所までの通院交通費の一部を助成している。 ・令和５年度からは、産後２週及び４週に受信する産後健診受診に係る交通費についても助成するよう拡充した。

事業費の内訳（単位：千円）	
Ｒ５決算額	1,354
Ｒ６予算額	2,208
Ｒ６決算見込額	2,208

KPI(任意)			
妊娠届出数（件）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
68	34	45	55

３９．任意予防接種助成事業（インフルエンザ・おたふくかぜ）

所管	健康づくり課　健康推進係
着手状況	Ｒ３年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容
・おたふくかぜの予防接種費用の一部助成を令和３年度より開始。 満１歳～３歳未満のお子さんの１回目接種について、３，５００円を助成する。 ・令和５年度から生後６か月～１８歳までのインフルエンザ予防接種費用補助事業を実施し、１人につき２，７００円を助成する。

事業費の内訳（単位：千円）	
Ｒ５決算額	1,534
Ｒ６予算額	2,176
Ｒ６決算見込額	2,176

KPI(任意)			
－			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	－	－	－

４０．出産祝金給付事業（第3子以降の出産祝金）

所管	社会福祉課　福祉調整係
着手状況	未着手（着手時期未定）

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容
【未着手の理由】 Ｒ６年度に制度内容を整理・検討

事業費の内訳（単位：千円）	
Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)			
出生数（人）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
68	38	30	55

４１．多子世帯子育て支援事業
（第3子以降の小･中･高･大学等の進学時の支援金）

所管	社会福祉課　福祉調整係
着手状況	未着手（着手時期未定）

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）	
【未着手の理由】 Ｒ６年度に制度内容を整理・検討	Ｒ５決算額	0
	Ｒ６予算額	0
	Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)			
出生数（人）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
68	38	30	55

４１．子育て世帯定住支援事業
（移住・定住・子育て世帯に特化した中古住宅取得補助金）

所管	都市整備課　建築係
着手状況	Ｈ２９年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）	
H２９年より中古住宅取得補助金を実施しており、これまでは、移住者・子育て世帯の場合の補助額上乗せや、対象世帯を移住者・子育て世帯のみに限定するなど、制度の見直しを都度行ってきたが、今年度からは、若年世代・移住者・子育て世帯を対象とした補助事業を実施している。	Ｒ５決算額	1,250
	Ｒ６予算額	2,500
	Ｒ６決算見込額	2,500

KPI(任意)			
補助件数（件）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
3	2	5	15

【基本的方向２】　若者の暮らしを支援する

〈５年後の目標（重要業績評価指標：ＫＰＩ）〉

項目	当初（H30年度）	（R2年度）	（R3年度）	（R4年度）	現状（R5年度）	目標（R6年度）
婚姻件数（単位：組）	50	63	39	39	40	55

※婚姻件数の目標数値は、現状維持・微増を目標とし、毎年度55組程度の件数を維持するものとします。

● ワーク・ライフ・バランスの促進、若者の交流・結婚活動に対する支援

〈概要〉

結婚を希望するも出会いの場がなく結婚できない若者を支援するため、町が婚活中の方の情報や相手方に求める要件をシステム管理しマッチングを行う出会いの場の提供について検討します。
また、広域的な実施を視野に入れるなど、より効果的な実施方法について検討します。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
４３．結婚活動マッチング事業	社会福祉課　福祉調整係

〈各施策の進捗状況〉

４３．結婚活動マッチング事業

所管	社会福祉課　福祉調整係
着手状況	未着手（着手時期未定）

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

【未着手の理由】
Ｒ６年度に制度内容を整理・検討

事業費の内訳（単位：千円）	
Ｒ５決算額	0
Ｒ５予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)

本事業を活用した者の結婚件数（件）

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
0	0	0	15

基本目標４　ひとが集う、安全・安心な暮らしを守る

【基本的方向１】　活力を生み、安心な生活を実現する環境の充実

〈５年後の目標（重要業績評価指標：ＫＰＩ）〉

項目	当初（H30年度）	（R2年度）	（R3年度）	（R4年度）	現状（R5年度）	目標（R6年度）
観光入込客数（単位：人）	376,600	199,520	190,386	306,158	335,487	500,000

※観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値。　〈統計名観光入込客統計〉

※観光入込客数の目標数値は、R6年度までの6年間で約1.3倍とし、R2年度から毎年20,600人程度の増加を図るものとします。

● 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実

〈概要〉

高齢者や障がい者などの町内移動のための「ノッタライン」や、円山地域住民の利便性向上や観光振興等を図るため「円山地域乗合タクシー」の実証運行を実施し本格運行を目指すなど、まちづくりや地域活性化、安全・安心な暮らしにつながる「持続可能な地域公共交通」を推進します。

岩内で生まれ育ち、岩内を描いた、北海道を代表する画家・木田金次郎の画業を様々な企画展などを通じて発信します。また、「絵の町・岩内」として、絵を描く人・観る人が多いという本町の特性を活かし、町民が誇りに思える文化事業を展開します。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
４４．町の情報発信の充実	総務課　情報化推進担当
４５．紙リサイクル化事業（雑紙）	町民生活課　生活環境係
４６．ふれあいごみ収集事業（高齢者等個別収集）	町民生活課　生活環境係
４７．地域公共交通推進事業 （ノッタライン･円山地域乗合タクシー、地域公共交通網形成計画の改訂）	町民生活課　生活環境係 企画財政課　地域創生係
４８．木田金次郎美術館運営事業	生涯学習課　生涯学習係 （美術館・郷土館担当）
４９．岩内町郷土館運営事業	生涯学習課　生涯学習係 （美術館・郷土館担当）
５０．町民生涯学習事業（町民大学講座、大学公開講座など）	生涯学習課　生涯学習係

〈各施策の進捗状況〉

４４．町の情報発信の充実

所管	総務課　情報化推進担当
着手状況	Ｒ３年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）	
・令和３年４月１２日より、町ＨＰに、首長の挨拶および自治体行政に関する考え方を町民に向けて発信する目的で「町長専用ページ」を開設し、情報発信の充実を図った。 ・令和３年４月１３日より、町ＨＰ内の観光情報をまとめた「観光ポータルサイト」を開設し、これまで閲覧・検索しにくかった情報の一元化により、情報発信の充実を図った。 ・町公式ＳＮＳの構築については、観光課においてLINE公式アカウントをはじめ、令和４年１０月５日現在で、友だち登録者１，１１０人となっており、令和５年度より広報係に引き継ぐ予定となっている。 ・令和５年度より広報係により運用を開始し、防災行政無線臨時放送や、若年層から中年層にかけて積極的に発信したい内容の情報発信に活用することで、広報誌・防災行政無線とあわせ、多角的に情報発信の充実を図った。 ・ＬＩＮＥ公式アカウントは引き続き友だち登録者数の増加を図っており、 令和６年９月１日現在で２，３１７人の登録となった	Ｒ５決算額	9,409
	Ｒ６予算額	10,523
	Ｒ６決算見込額	10,523

KPI（任意）			
SNSフォロワー数（人）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
0	2,147	3,000	5,000

４５．紙リサイクル化事業（雑紙）

所管	町民生活課　生活環境係
着手状況	未着手（R7以降着手予定）

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）	
紙類を含めリサイクルについて、検討する会議を開催。 （役場、収集業者、社会福祉協議会、岩内地方衛生組合、分別収集連絡協議会等の参加者による課題検討会の実施） 実施に向けての課題や解決策の検討を開始、 役場だけではなく、収集事業者・処理事業者・排出者など、他分野・多方向からの検討を行う。	Ｒ５決算額	0
	Ｒ６予算額	0
	Ｒ６決算見込額	0

KPI（任意）			
雑誌排出量（トン）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
0	0	0	90

４６．ふれあいごみ収集事業（高齢者等個別収集）

所管	町民生活課　生活環境係
着手状況	未着手（R7以降着手予定）

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）	
資源物ステーションの管理運営方法を含め、ふれあいごみ収集の実施について、検討する会議を開催。 （役場、収集業者、社会福祉協議会、岩内地方衛生組合、分別収集連絡協議会等の参加者による課題検討会の実施） 実施に向けての課題や解決策の検討を行った。 役場だけではなく、収集事業者・処理事業者・排出者など、他分野・多方向からの検討を行う。	Ｒ５決算額	0
	Ｒ６予算額	0
	Ｒ６決算見込額	0

KPI（任意）			
収集件数（件）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
0	0	0	100

４７．地域公共交通推進事業（①ノッタライン）

所管	町民生活課　生活環境係
着手状況	Ｈ２８年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□ノッタライン運行事業
・いわない循環バス「ノッタライン」は平成28年度より本格運行し、現在では町民の足として定着している。
　年々乗車人員も増加しており、令和元年度には、実績として最高となる総乗車人員42,540人、5,760千円の運賃収入となった。
・令和２年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、乗車人員及び運賃収入が大幅に減少したが、今後も町民の重要な移動手段としての役割を担う。
・運行経費については、運転手等の人件費向上等により年々増加傾向にあり、令和５年度の町補助額は13,684千円。
・令和３年４月１日より、利用者数が僅少な便である土曜日と祝祭日の１便と８便を運休とし、年末年始においては特別ダイヤにて運行をすることによって経費の抑制。持続可能な公共交通の確保に努める。
・令和３年８月１日より、運転免許証自主返納者への無料乗車券・回数券交付事業を開始し、新規利用者開拓と利用促進に取り組み、令和６年７月時点で累計９１件の申請受付。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	13,684
Ｒ６予算額	13,607
Ｒ６決算見込額	13,607

KPI（任意）

経費全体に占める運賃収入の割合（%）
年間乗車人員（人）

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
23.2	22.1	21.1	25
39,184	36,309	33,742	45,000

４７．地域公共交通推進事業（②円山地域乗合タクシー）

所管	町民生活課　生活環境係
着手状況	Ｒ２年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□円山地域乗合タクシー実証運行事業
・地域公共交通の空白地帯である円山地域の交通不便地域の解消を目的として、令和２年６月から実証運行を開始。
・実証運行開始当初より、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外出自粛要請の利用控えが見られ、本来のデータが得られないことから令和３年度も実証運行を継続。
・令和５年６月１日より本格運行を開始。
・令和３年８月１日より、運転免許証自主返納者への無料乗車券・回数券交付事業を開始し、新規利用者開拓と利用促進に取り組み、令和６年７月時点で累計９１件の申請受付。
・令和４年度利用実績は、大人3,889人、子ども2人、障がい者1,078人、計4,969人。
・令和４年度は、事業の継続性や費用対効果等を勘案し、週５日・１日３便での実証運行を実施。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	5,094
Ｒ６予算額	6,245
Ｒ６決算見込額	6,144

KPI（任意）

年間乗車人員（人）

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
0	5,081	5,117	6,500

４７．地域公共交通推進事業（③地域公共交通計画）

所管	企画財政課　地域創生係
着手状況	Ｒ２年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□地域公共交通計画の策定
　地域の輸送資源を総動員し、地域自らがデザインする公共交通の実現を目指した「岩内町地域公共交通計画」を令和３年３月に策定した。
□地域公共交通マップ「いわナビ」の作成
　町内の公共交通路線をまとめた交通マップを令和４年度に作成した。バスターミナルのほか、町内宿泊施設や道の駅などの観光施設、医療機関や公共施設など幅広く設置した。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	7,803
Ｒ６予算額	306
Ｒ６決算見込額	306

KPI（任意）

－

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	－	－	－

４８．木田金次郎美術館運営事業

所管	生涯学習課　生涯学習係（美術館・郷土館担当）
着手状況	Ｈ６年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容
□企画展の充実、絵画教室・ワークショップの開催（こども・一般）、ふるさとこども美術展表彰 【Ｒ３】町直営により木田金次郎・岩内に関する展示・イベント・教育普及事業を実施 展示１１本・イベント６本・教育普及事業７本・貸館４本（予定を含む） ※新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休館：5/16～6/20 ※12/1～3/31冬期休館 【Ｒ４】町直営により木田金次郎・岩内に関する展示・イベント・教育普及事業を実施 展示１１本・イベント５本・教育普及事業７本・貸館３本（予定を含む） ※12/1～3/31冬期休館 【Ｒ５】町直営により木田金次郎・岩内に関する展示・イベント・教育普及事業を実施 展示１２本・イベント５本・教育普及事業７本・貸館４本（予定を含む） ※12/1～3/31冬季休館 【Ｒ６】町直営により木田金次郎・岩内に関する展示・イベント・教育普及事業を実施 展示１２本・イベント６本・教育普及事業８本・貸館４本（予定を含む） ※12/1～3/31冬季休館

事業費の内訳（単位：千円）	
Ｒ５決算額	22,984
Ｒ６予算額	28,189
Ｒ６決算見込額	28,189

KPI（任意）			
－			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	－	－	－

４９．岩内町郷土館運営事業

所管	生涯学習課　生涯学習係（美術館・郷土館担当）
着手状況	Ｈ２１年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容
□企画展の充実、歴史講座・歴史ツアーの開催、歴史散歩マップの配布 【Ｒ３】指定管理者により郷土に関する企画展・講座等を実施 企画展３本・講座２本 ※新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休館：5/16～6/20 ※12/1～3/31冬期休館 【Ｒ４】指定管理者により郷土に関する企画展・講座等を実施 企画展３本・講座２本 ※12/1～3/31冬期休館 【Ｒ５】指定管理者により強度に関する企画展・講座等を実施 企画展３本・講座２本 ※12/1～3/31冬季休館 【Ｒ６】指定管理者により強度に関する企画展・講座等を実施 企画展３本・講座２本 ※12/1～3/31冬季休館

事業費の内訳（単位：千円）	
Ｒ５決算額	5,583
Ｒ６予算額	6,154
Ｒ６決算見込額	6,154

KPI（任意）			
－			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	－	－	－

５０．町民生涯学習事業（町民大学講座、大学公開講座など）

所管	生涯学習課　生涯学習係
着手状況	過年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容
□成人や高齢者をはじめ、多世代それぞれのニーズに対応した学習機会を提供するため、生活・文化等に関する各種講座などを開催し、自己研鑽と交流を図っている。 ・町民大学講座 【Ｒ２】「木田金次郎美術館特別展示見学」「岩内町の昭和試写会」を実施 （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、２プログラムのみ実施） 【Ｒ３】フロアカーリング体験ほか４プログラムを実施 【Ｒ４】防災訓練ほか７プログラムを実施 【Ｒ５】ミニ運動会ほか８プログラムを実施予定 【Ｒ６】「町内の空き家状況について」のほか７プログラムを実施予定 ・大学公開講座 【Ｒ２】【Ｒ３】新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 【Ｒ４】小樽商科大学の協力のもと、中川教授による「健康寿命と運動スポーツ～人生１００年時代を豊かに生きる～」を開催　【Ｒ５】小樽商科大学の協力のもと、鈴木教授による「『ブランド論』～ブランドとはどのようなものか～」を開催 【Ｒ６】大学等の協力のもと開催予定 ・寿趣味学級の開催 詩吟教室・カラオケ教室の２教室を４月から翌年３月まで月２回開催 ・家庭教育講座の実施 【Ｒ３】新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 【Ｒ４】子育て世代の親を対象にブックスタートをサポートする会による「親子ですぐできる童謡遊び」を開催 【Ｒ５】子育て世代の親を対象にブックスタートをサポートする会による 「親子で絵本の読み聞かせ・集団わらべうた遊び」を開催 【Ｒ６】子育て世代を対象とした講座を開催予定。

事業費の内訳（単位：千円）	
Ｒ５決算額	201
Ｒ６予算額	338
Ｒ６決算見込額	106

KPI（任意）			
各種事業の参加者数（人）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
4,485	6,195	5,000	4,500

。

● 地域資源を活かした個性あふれる地域の形成

〈概要〉

道の駅とその周辺地域の再整備や、各観光施設や商店街などと連動した取り組みについて「道の駅検討会」の開催などを通じて検討を行います。また、岩宇DMOの組織化に向けた検討を進め、令和3年度の本格稼働を目指します。
「含翠園」を地域資源として掘り起こし、歴史的文化財産の価値を明確にし、樹木、池などの庭園や茶室の付加価値を高め、体験交流のできる場として味わいのある空間を創出できるよう整備を行い、更に住民の憩いの場としても愛され、利用される施設に再生します。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
５１．道の駅機能強化事業	観光経済課　観光係
５２．観光客受入体制整備事業	観光経済課　観光係
５３．岩宇DMO設立・運営事業 （岩宇まちづくり連携事業 広域連携事業）	観光経済課　産業活動支援係
５４．クルーズ振興推進事業	観光経済課　観光係
５５．日本夜景遺産推進事業	観光経済課　観光係
５６．含翠園改修事業	建設課　土木係
５７．北海道日本ハムファイターズパートナー協定事業	企画財政課　地域創生係

〈各施策の進捗状況〉

５１．道の駅機能強化事業

所管	観光経済課　観光係
着手状況	Ｈ２７年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容
これまで計４回の道の駅検討会を開催し、関係機関との化検討を進めてきており、今年度においても、国等の事業を活用しつつ、道の駅の再生について検討を進めていく。

事業費の内訳（単位：千円）	
Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)			
道の駅年間訪問者数（人）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
97,799	100,478	100,000	120,000

５２．観光客受入体制整備事業

所管	観光経済課　観光係
着手状況	Ｈ３１年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

・平成30年に円山展望台からの展望が日本夜景遺産に認定されたことを契機に、誰もが安心して滞在できる観光地域づくりを進めていくため、円山周辺の看板整備をはじめ、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、道の駅前広場空間の改善、三十三観音像多言語看板の設置、および観光専用ポータルサイトの導入などにより、ポストコロナを見据えた体制整備を行った。
　・令和５年度は、観光ＤＸの取り組みとして、旅マエにおけるＳＮＳ発信の強化、旅ナカにおける周遊を促すデジタル観光マップの作成、旅アトにおけるＧＰＳ位置情報サービスを活用した人流把握により、岩内町に来訪する観光客情報について、適切なマーケティングを実施し、明確なターゲット設定による観光戦略立案を目指すプラットフォームの構築を進めた。
・いわない温泉エリアにおいては、観光庁「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」を活用した宿泊施設の高付加価値化改修を実施しており、令和６年１２月に事業が完了する見込みとなっている。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)

円山エリア宿泊者数（人）

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
42,214	40,498	42,000	？60000

５３．岩宇DMO設立・運営事業
（岩宇まちづくり連携事業 広域連携事業）

所管	観光経済課　観光係
着手状況	Ｈ２８年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

・各町村のキーマンを交えた検討会議の設置
・体験プログラムの開発、モニターツアーの実線
・先進地視察、地域コンセンサスの醸成
・令和３年度においては、地域全体の合意形成を確立させてうえで、DMOを本格稼働させるための事業計画案を作成する。
　岩宇を訪れた方を対象としたアンケート調査を実施し、データ収集と分析を行う。
・令和４年度以降、先進地視察を踏まえ行政区の垣根を超えた連携の必要性を学び、継続的に連携した取り組みを推進する組織体制作りを目指し、事業を実施している。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)

－

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	－	－	－

５４．クルーズ振興推進事業

所管	観光経済課　観光係
着手状況	Ｈ３１年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

　令和元年10月に大型クルーズ船「ぱしふぃっくびいなす」の岩内初寄港を契機に、クルーズ船誘致を推進する体制整備を進める予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大による大型クルーズ船クラスター事例の発生等の影響により、誘致活動等を推進することができなかった。
　今後は、誘致活動等を再開できるよう準備を進める。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)

クルーズ船受入数（隻）

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
0	0	0	2

５５．日本夜景遺産推進事業

所管	観光経済課　観光係
着手状況	Ｈ３１年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容
平成30年に円山展望台からの夜景が日本夜景遺産に認定されたことを契機とし、平成31年度より各種記念事業を実施したが、令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度においては、各種記念事業の実施を見送った。 令和4年度については、本事業最終年度であったため、これまで取り組んできた成果を広く周知することを目的としてＬＩＮＥ公式アカウントを活用したプロモーションを実施し、岩内町の新たな観光資源としての付加価値を高め、「岩内町の夜景」のブランド化を促し、国内外の観光客誘致による町の活性化へ繋げた。

事業費の内訳（単位：千円）	
Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)			
道の駅年間訪問者数（人）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
97,799	100,478	100,000	120,000

５６．含翠園改修事業

所管	建設課　土木係
着手状況	Ｈ３１年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容
H31年度に基本設計業務 R2年度に実施設計業務 R3年度に用地買収、庭園一部の工事着手、附属建物詳細設計業務 R4年度に庭園部工事、既存建物耐震・詳細設計業務 R5年度に建築部工事、庭園部工事 R6年度に庭園部工事

事業費の内訳（単位：千円）	
Ｒ５決算額	221,584
Ｒ６予算額	2,449
Ｒ６決算見込額	2,310

KPI(任意)			
年間来園者数（人）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
180	0	5,300	5,300

５７．北海道日本ハムファイターズパートナー協定事業

所管	企画財政課　地域創生係
着手状況	Ｒ２年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容
□北海道日本ハムファイターズとの連携 プロ野球チーム北海道日本ハムファイターズと連携し、まちづくりを推進するため、令和２年度に協定を締結する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、協定締結は延期となり再開は未定であった。 令和４年度中において、協定締結事業が令和６年度から再開されることとなったが、協定に係る費用が高額であることが判明したため、令和６年度以降の協定締結は検討中。

事業費の内訳（単位：千円）	
Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)			
－			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	－	－	－

【基本的方向２】　安心して暮らすことができるまちづくり

〈５年後の目標（重要業績評価指標：ＫＰＩ）〉

項目	当初（H30年度）	（R2年度）	（R3年度）	（R4年度）	現状（R5年度）	目標（R6年度）
健康寿命の延伸	男性：77.5歳 女性：80.3歳	男性：78.4歳 女性：80.9歳	男性：77.7歳 女性：80.9歳	男性：77.5歳 女性：81.1歳	男性：76.9歳 女性：81.6歳	男性：78.4歳 女性：81.2歳

※国の「健康寿命」の指標は、国民生活基礎調査を基に算定する「日常生活に制限のない期間」を用いているが、３年に一度の算出となることから、毎年・自治体毎の算定には補完指標として「国保データベースシステム KDB」の指標を参考とする。

● 医療・介護・生活支援・介護予防等の機能の確保

〈概要〉

高齢者は複数の慢性疾患に加え、認知機能や社会的なつながりが低下するいわゆるフレイル状態になりやすいなど、疾病予防と生活機能維持の両面にわたるニーズを有していることから、国保データベースシステムを活用した健康課題の分析・対象者を把握し、重症化予防の取組を進めるほか、通いの場や地域との交流・地域活動への参加を奨励し、地域住民の健康寿命の延伸を図ります。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
５８．生活習慣病の重症化予防の徹底 （国民健康保険特定健診の受診率向上、保健指導）	健康づくり課　医療保険係
５９．がん検診の受診率向上対策	健康づくり課　健康推進係
６０．高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 （在宅療養対策（重症化予防）、虚弱（フレイル）予防対策）	健康づくり課　医療保険係
６１．高齢者の集い・通いの場の確保（高齢者サロン）	長寿介護課　高齢者福祉係
６２．地域の医師体制の維持・確保	健康づくり課　医療保険係
６３．在宅高齢者介護用品購入費助成事業	長寿介護課　介護保険係

〈各施策の進捗状況〉

５８．生活習慣病の重症化予防の徹底（国民健康保険特定健診の受診率向上、保健指導）

所管	健康づくり課　医療保険係
着手状況	R元年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□特定健康診査の受診率向上対策
・特定健康診査の受診率を向上させることによって、生活習慣病の発症及び重症化の予防や、疾病の早期発見及び治療を目指すことにより、町民が元気に住み続けられるために健康意識の向上を図る。
・従前より実施している翌年度の受診自動予約や節目年齢（40歳・45歳・50歳・55歳）の受診無料化、令和元年度から開始した北海道国民健康保険団体連合会及び（株）キャンサースキャンとの連携による、人工知能を活用した対象者の行動分析に基づく個別受診勧奨を行っている。
・令和２年度からは、いわないポイントカード会と連携を行い、保健師や栄養士から受診結果の説明を受けた方へ対し「たら丸カードポイント3,000円分」を付与する事業を開始。令和４年度からは、継続した受診へ繋げるため、２年連続の受診者に対し「たら丸カードポイント6,000円分」を付与する。
・さらに、特定保健指導を受けた方に対しては減塩食品、指導により血圧や腹囲などの自己設定目標を達成した方に対しては満点たら丸カードを贈るなど、町民が自主的に健康づくりに取り組むような方策を図っている。
・引き続き、受診率の目標数値を達成するため、医療機関からの情報提供拡充や不定期受診者の受診習慣化に向けた施策を検討している。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	10,653
Ｒ６予算額	11,186
Ｒ６決算見込額	11,186

KPI（任意）

国民健康保険特定健診受診率（%）

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
34.3	34.9	35	60

５９．がん検診の受診率向上対策

所管	健康づくり課　健康推進係
着手状況	Ｈ２８年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

・がん検診の早期発見のため、集団検診および個別検診を実施。
・受診率向上のため、検診対象者には個別通知を実施し、さらに重点年齢を設定して無料クーポン券の発券や再勧奨を行っている。また、令和４年度からは岩内町国民健康保険加入者が胃・肺・大腸がん検診を受診する際の自己負担額を下げた。
・国のがん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針に基づき、胃がん健診における内視鏡検査の対応、更には任意型
健診であるヘリカルCTによる肺がん検診を令和６年度から予算計上し岩内協会病院と契約を締結している。
・令和６年度からはさらに胃・子宮・肺・乳がん検診及び健康診査に係る自己負担額を軽減した。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	9,298
Ｒ６予算額	12,311
Ｒ６決算見込額	12,311

KPI(任意)

受診率（胃・大腸・肺）（%）
受診率（子宮・乳）（%）

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
11.7	12.8	13	40
17.9	8	8.4	50

６０．高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施（在宅療養対策（重症化予防）、虚弱（フレイル）予防対

所管	健康づくり課　医療保険係
着手状況	Ｒ５年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

・高齢者が抱える「フレイル」などの心身の多様な課題に対応するため、運動・口腔・栄養・社会参加等の視点から保健事業と介護予防事業を一体的に取り組み、住民の健康寿命の延伸を目指す。
・老人クラブなどの各種団体に対し、フレイル予防に関わる健康教育や、健診後の結果説明会において、家庭血圧測定の普及及びフレイル予防の健康相談を行うポピュレーションアプローチを実施する。
・健診結果がＨｂＡ１ｃ8.0%以上の者若しくは、国保特定健診からの継続指導者を抽出し、糖尿病性腎症化予防に関わる相談・指導や健診結果がⅡ度高血圧以上の者若しくは、ＢＭＩ25以上の高血圧と高血糖の重なりがある者を抽出し、生活習慣病重症化予防に関わる相談・指導を行うハイリスクアプローチを実施する。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	11,351
Ｒ６予算額	12,603
Ｒ６決算見込額	12,603

KPI(任意)

健康寿命（男性／女性）（歳）

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
77.5	76.9	76.9	78.4
80.3	81.6	81.8	81.2

６１．高齢者の集い・通いの場の確保（高齢者サロン）

所管	健康づくり課　高齢者福祉係
着手状況	Ｒ２年度に着手

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容

□高齢者の通いの場の確保に向けた支援の実施
　・高齢者が住み慣れた地域で生き生きと過ごすことができるように、高齢者が集い通う場所「高齢者サロン」の確保に向けた支援に努める。
　・令和３年１２月、地域おこし協力隊員が、介護予防運動サロン「fitnessCoCo憩エール」をプレオープン。
　　町内高齢者及びミドル世代をターゲットに、介護予防に資する事業をスタートした。
　　現在は、知名度の向上に向けさまざまな形で施設の周知や、町の委託業務を活用して地域おこし協力隊員を自主的なサークルへ講師として派遣するなど、活動を応援している。
　・令和５年度は、町包括支援センターの協力のもと、試験的に「認知症カフェ」を４回開催。
　・令和６年度以降においても、認知症カフェを４回開催予定で周知方法や内容を工夫し、
　　集客増に向けた方策を検討していく予定。
　・令和７年度以降においても、認知症カフェの他、通いの場としても活用できるようなイベントを開催していくとともに、
　　本業である介護予防運動サロンが安定的に経営していけるように支援を継続していく。

事業費の内訳（単位：千円）

Ｒ５決算額	0
Ｒ６予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)

高齢者の集い・通いの場の開催回数（回）

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
0	4	4	5

６２．地域の医師体制の維持・確保

所管	健康づくり課　医療保険係
着手状況	Ｈ２２年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）	
□岩宇地域における救急医療体制の確保 ・岩内協会病院は２４時間・３６５日の救急医療を担う「岩宇地域唯一の病院」であるが、慢性的な常勤医師の不足による診療科の休廃止や、非常勤医師の配置による医業費用の増加によって、経営の逼迫を招いている。 ・救急及び小児医療体制を確保するため、岩宇４町村で経営支援のための補助を実施しており、令和２年度は合計5,000万円（うち岩内町分は3,500万円）の支出を行った。 ・令和３年度からは、新型コロナウイルス流行の影響により、さらに赤字が拡大したことなどから合計6,000万円（うち岩内町分は4,200万円）の支援を実施している。 ・病院側から夜間救急の休止に関する申出を受けたこと、さらには原子力災害医療活動実施要領に定める原子力災害医療協力機関としての役割を果たすため、今後は金銭的な支援に加え、北海道など関係機関へ常勤医師の確保に向けた要望などを岩宇４町村で継続して実施していく。要望の成果として、令和５年４月から１名の常勤医師が配置され、令和６年度についても北海道からの医師派遣が継続された。	Ｒ５決算額	42,000
	Ｒ６予算額	42,000
	Ｒ６決算見込額	42,000
	KPI（任意）	
	－	

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	－	－	－

６３．在宅高齢者介護用品購入費助成事業

所管	長寿介護課　介護保険係
着手状況	Ｈ３０年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）	
□在宅高齢者に対する介護用品購入費の一部を助成 ・要介護度の高い在宅高齢者が使用する介護用品の購入費の一部を助成することで、介護を必要とする者に対し経済的負担の軽減と在宅生活の継続及び向上を図る。 ・平成２８年度から「在宅高齢者紙おむつ購入費助成事業」賭して実施を開始したが、平成３０年度以降は、在宅高齢者の生活に必 　要な介護用品の実態に合わせて、「在宅高齢者介護用品購入費助成事業」として紙おむつ以外にも清拭用品やドライシャンプー等 　を対象品目に追加して実施している。 ・申請期間を４か月おきに設け、各申請期間において24,000円を上限に対象介護用品購入費の９割を助成している。 ・令和５年度の給付実績は２１件であり、前年度とほぼ横ばい。令和６年度は、８月末時点で７件に給付している。	Ｒ５決算額	377
	Ｒ５予算額	476
	Ｒ６決算見込額	476
	KPI（任意）	
	－	

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	－	－	－

● 地域防災・地域の交通安全の確保

〈概要〉

災害時において、避難所に必要な最低限の電力を確保するための非常用発電機（固定設置又は可搬型）の整備を進めます。また、食料や水などの防災備蓄品の必要数確保のほか、民間業者等との災害時支援協定の拡充により、防災体制の充実を図ります。
LED防犯街路灯を設置又はLED防犯街路灯に改良する団体等に、設置費の一部を補助しLED化を推進します。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
６４．自主防災組織・人材育成事業	危機管理課　危機管理係
６５．避難所機能強化事業	危機管理課　危機管理係
６６．緊急時給水拠点確保等事業（配水管の耐震化）	施設課　技術係
６７．防犯カメラ設置費助成事業	町民生活課　生活環境係
６８．防犯街路灯（LED化）設置費助成事業	町民生活課　生活環境係
６９．通学路安全対策事業	子ども未来課　学校教育係

〈各施策の進捗状況〉

６４．自主防災組織・人材育成事業

所管	危機管理課　危機管理係
着手状況	今年度より着手

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容
・町内の自主防災組織数 Ｒ６　１団体

事業費の内訳（単位：千円）	
Ｒ５決算額	0
Ｒ５予算額	0
Ｒ６決算見込額	0

KPI(任意)

自主防災組織数（団体）

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
0	0	1	20

６５．避難所機能強化事業

所管	危機管理課　危機管理係
着手状況	R元年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容
・非常用発電機購入 Ｒ元　２台（２箇所） Ｒ２　２台（２箇所） Ｒ３　１台（１箇所） Ｒ４　１台（１箇所） Ｒ５　１台（１箇所） Ｒ６　１台購入予定（１箇所、非常用電池） ・災害支援協定 Ｒ元　４件 Ｒ３　４件 Ｒ４　４件 Ｒ５　２件 Ｒ６　１件予定

事業費の内訳（単位：千円）	
Ｒ５決算額	451
Ｒ６予算額	616
Ｒ６決算見込額	616

KPI(任意)

非常用発電機のある避難所（箇所）
災害時支援協定数（道経由含む）（件）

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
3	9	10	13
85	97	98	90

６６．緊急時給水拠点確保等事業（配水管の耐震化）

所管	施設課　技術係
着手状況	Ｈ１９年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容
□重要給水施設配水管の耐震化 ・岩内町地域防災計画上の指定緊急避難所、指定避難所、災害対策本部となる役場庁舎、基幹医療施設及び、透析医療機関を加え　た計１８施設を緊急時給水拠点とし、地震などの災害時においても可能な限り水の供給を維持できるよう、各施設までの配水管　の耐震化を図る。 ・配水管の耐震化事業は、平成１９年度から着手しており、令和４年度末で１１施設までの配水管の耐震化が完了し、耐震化率が約６１％となっている。 ・令和６年度も引き続き、配水管の耐震化を図るべく耐震改修工事を実施している。

事業費の内訳（単位：千円）	
Ｒ５決算額	78,056
Ｒ６予算額	106,000
Ｒ６決算見込額	106,000

KPI(任意)

耐震化済み施設数

H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
6	11	11	18

６７．防犯カメラ設置費助成事業

所管	町民生活課　生活環境係
着手状況	Ｒ元年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）	
□防犯カメラ設置費助成事業 ・犯罪の抑止を目的とした防犯カメラを設置する町内会・自治会に対して補助金を交付することにより、地域の防犯活動を推進し、安全で安心なまちづくりの実現を図ることを目的に、令和元年度から事業開始。 ・これまでの実績は、４団体、計８台の設置に対し補助金を交付した。（１団体２台）	Ｒ５決算額	0
	Ｒ６予算額	200
	Ｒ６決算見込額	200

KPI（任意）			
設置台数（台）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
0	8	9	12

６８．防犯街路灯（LED化）設置費助成事業

所管	町民生活課　生活環境係
着手状況	Ｈ２７年度　着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）	
□防犯街路灯LED化助成事業 ・防犯街路灯を設置・改良する町内会・自治会に対して補助金を交付し、夜間における治安の維持と交通の安全を図る。 ・平成28年度から令和5年度までの8年で町内防犯街路灯の80%をLED化することを目標に推進している。 ・令和5年度の実績は新設を含めて58本の防犯街路灯がLED化、全体としては、78.6%のLED化率となっている。	Ｒ５決算額	1,867
	Ｒ６予算額	1,925
	Ｒ６決算見込額	1,925

KPI（任意）			
各団体が管理する防犯街路灯のLEDが占める割合（%）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
47.7	78.6	82	83

６９．通学路安全対策事業

所管	子ども未来課　学校教育係
着手状況	過年度に着手済

今年度（Ｒ５）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）	
〔R2※R2以前より着手〕 □交通安全プログラムの整備 ・通学路安全対策会議により、学校・道路管理者・警察など関係機関と連携し、通学路の安全対策を講じた。 ※危険箇所の合同点検を行い、道路整備の進捗確認や不審者情報の共有、交通安全設備の設置要望などを行った。 〔R3～〕 □学校運営協議会との接続 ・保護者をはじめとした地域住民からも広く意見や情報を得る手段として、連携を試みる。 ※現時点では具体的な着手はないが、今後所管部局である生涯学習課と連携の上進める予定。 ※通学路安全推進会議構成者に学校運営協議会委員である学校長・教頭・ＰＴＡが含まれているため、実質的には接続はなされている。 〔R6～〕 □岩内中央学園における通学路の安全対策 ・通学路安全対策会議の中で、岩内中央学園における通学路の安全対策を講義し、 新たな学校整備に向けた開校準備委員会において、通学のための安全な道路を選定するよう取組を進めている。	Ｒ５決算額	0
	Ｒ６予算額	0
	Ｒ６決算見込額	0

KPI（任意）			
ＣＳの連携を踏まえた通学安全対策会議開催率（%）			
H30 基準数値	R5 確定数値	R6 見込数値	R6 目標数値
－	100	100	100